



令和8年度の施政概要

～当初予算(案)&組織の改編～

1 施政方針	2P
2 予算	5P
3 組織	18P
4 補足資料	23P

令和8年2月
袋 井 市



施政にあたっての基本的な考え方

R7施政方針
(2025)

これまでの歩みをしっかり振り返り、新たな袋井を市民と共に考え、創り出す年

市長として
の思い

これまでの取組を深化・バージョンアップさせる
～ チャレンジ&スマイル 2026 ～

第3次「総合計画」始動！



未来をカタチに、新たな一步を踏み出す年

～第3次袋井市総合計画「にぎわい ずっと続くまち ふくろい」に向けたまちづくりの始動～

令和8年度
施政方針

令和8年度の
位置付け

重要な
考え方

新たな価値の創出

地域資源を組み合わせ、交流を
拡大し、新たな魅力と活力を創出する

2つの軸

まちの変革と継承

社会の変化に対応して組織やサービスを
刷新し、より良いカタチで継承する

主要事業

令和8年度 主要事業

4つの視点

2つの手段

令和8年度
予算編成方針

少子化対策と
こども若者
施策の推進

人を財産として
尊重する
社会の構築

市民の安心安全
の確保

関係人口と
地域全体で
稼ぐ力の向上

AIやデジタル
などの新技術
の活用

異なる要素の
連携と新結合



未来をカタチに新たな一步を踏み出す予算

令和8年度 施政方針に基づく主要事業

新たな価値の創出

New

稼ぐチカラ向上
〔BIRDSコミュニティマネージャー
副業人材活用マッチング〕



New

リビングラボの推進
部活動地域展開の加速化



New

関係人口の創出
(仮称)2961Dayキックオフ
2029/6/1：フクロイの語呂



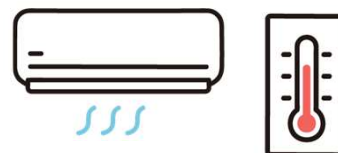
拡充

公共施設マネジメント
総合管理計画の改訂



New

猛暑への対策
小中学校体育館への
空調整備



New

ライフデザイン
プレコンセプションケア
の推進



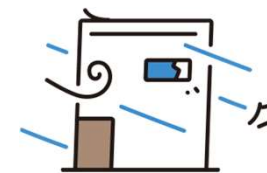
拡充

包括的民間委託の推進
ふくろいインフラ
メンテナンスセンター



New

危機管理の強化
災害時における
被災者の支援システム導入



ふくろい賑わい創出プロジェクト ～大型プロジェクトの着実な推進～

拡充

海のにぎわい創出プロジェクト
(賑わい創出補助金 他)



継続

こども交流館
「あそびの杜」整備

継続

総合健康センター構想
「基本計画」策定

拡充

Fukuroi Central Park 構想
(遊水池公園&ポンプ場)



拡充

(都) 森町袋井インター通り線
(地質調査 他)





第3次袋井市総合計画の政策分野

まちの将来像

にぎわい
ずっと続くまち
ふくろい

まちづくりの基本目標

誰もが笑顔で
自分らしく輝ける
まちの実現

政策分野

政策1（こども家庭）

安心してこどもを産み育てられるまちを目指します

政策2（教育）

学び合い成長できるまちを目指します

政策3（健康・福祉）

笑顔でいきいきと暮らせるまちを目指します

政策4（都市・環境）

環境にやさしく快適に暮らせるまちを目指します

政策5（建設保全）

生活基盤の整った持続可能で安全なまちを目指します

政策6（産業経済）

稼ぐチカラの向上による活力みなぎるまちを目指します

政策7（文化・観光・スポーツ）

交流が広がる魅力的なまちを目指します

政策8（市民生活）

つながりによる安心と多様性のあるまちを目指します

政策9（危機管理）

災害に強い支え合いのまちを目指します

住み続けたいと思える
魅力あふれる
まちの実現

多彩なつながりで
支え合いを実感できる
まちの実現

基盤

多様な主体とともに創る 持続可能な行政経営

第3次
袋井市総合計画

前期基本計画 2026 ▶ 2030



にぎわい
ずっと続くまち
ふくろい



令和8年度当初予算（案）の概要

1. 予算総額

一般会計 ➡ **417億3,000万円** (対前年度 16.4億円増 +4.1%)

全会計 ➡ **663億9,000万円** (対前年度 22.2億円増 +3.5%)

区分	R8当初	R7当初	増減	伸率
一般会計	417.3億円	400.9億円	+16.4億円	+4.1%
特別会計	158.7億円	155.8億円	+2.9億円	+1.9%
企業会計	87.9億円	85.0億円	+2.9億円	+3.3%
計	663.9億円	641.7億円	+22.2億円	+3.5%



予算編成のポイント

◇新たなまちづくりと財政健全化の両立

1 全事業の見直しやマイナス6%シーリングの実施による収支改善

一般財源ベース **2.5 億円**を削減

2 「スマイルシティふくろい」を実現するための「特別枠」を設定

10 事業（事業費：3,886万円（うち一般財源：2,389万円※））

- ・「推し活」応援プロジェクト～推しのまちに向けた挑戦～
- ・輸出拡大生産体制強化支援事業（碾茶戦略）
- ・（仮称）2961Dayキックオフイベント など



◇物価高騰に対応するための予算を計上

重点支援地方交付金を活用した物価高騰対策（7.8 億円）

- ①全市民・・・応援商品券の発行、水道料金の減免
- ②子育て世帯・・・給食費の値上げ分の減免
- ③低所得世帯・・・住民税非課税世帯へ現金給付
- ④中小企業・・・デジタルクーポンの配布、賃上げ対策事業



重点支援地方交付金を活用した物価高騰対策事業

【事業費合計：7.8億円（内交付金：7.5億円）】

全市民向け

ふくろい応援商品券発行事業 予算額：3億2,800万円



食料品
高騰対策

食料品の物価高騰に対する支援と市内事業者の支援を目的に、市民一人あたり3000円相当のプレミアム率を設定した「ふくろい応援商品券」を実施する

水道料金減免事業 予算額：2億2,640万円



水道料金基本料金2期分（令和8年7月～10月請求分）を減免する

子育て世帯向け

給食食材費等高騰対策支援事業 予算額：3,310万円

令和8年度給食費の値上げに伴う減免を行う（併せて、私立保育所等へ同水準の補助を行う）



低所得世帯向け

低所得世帯食料品物価高騰対策事業

予算額：1億400万円

低所得世帯支援として、住民税非課税世帯へ1万円を現金給付する

事業者向け

物価高騰対策デジタルクーポン事業 予算額：7,700万円



物価高騰に直面する地域経済の活性化と事業者支援を目的に、市公式LINE（メローねっと）登録者を対象に、市内の飲食店や物販店舗等で利用できるデジタルクーポンを配布する

中小企業・小規模事業者の
賃上げのための事業

予算額：1,000万円

政策別の取組①

(こども家庭) 安心してこどもを産み育てられるまちの推進

出産前からの切れ目のない支援

新 プレコンセプションケアの推進 35万円



○若い世代が妊娠・出産を含めたライフデザインや将来の健康について考えるための講座を実施

○対象：小・中学生



拡 こども若者家庭センター機能強化 561万円

○こども政策部門と相談支援部門を同一拠点に集約(連携体制の強化)



袋井市こども若者家庭センター
シンボルマーク

みんなで支えあう子育て環境の充実

新 こども誰でも通園制度 236万円

○就労要件を問わず時間単位等で柔軟に保育所等の利用が可能

○対象：0歳6か月から満3歳未満のこども
※ 保育所等に通っているこどもは対象外

こども誰でも
通園制度

継 放課後児童クラブの運営 3億6,767万円

○支援員等の資質向上を図るための支援員研修会の開催

○地区育成会が運営する8クラブを統合・法人化し経営体制を強化

○キャッシュレス決済の導入検討



(教育) 学び合い成長できるまちの推進

未来に輝くこどもたちの育成

新 小中学校体育館への空調整備 720万円



○近年の猛暑を踏まえ、児童生徒の安全な学習環境を確保し、体育の授業や学校行事への影響を改善

- ・ 2025年度に調査した4小中学校に空調設備設置（袋井北小、袋井南小、周南中、浅羽中）
- ・ 12小中学校の空調設備整備の設置に関する調査



新 部活動地域展開の加速化 (リビングラボトリガープロジェクト)

388万円

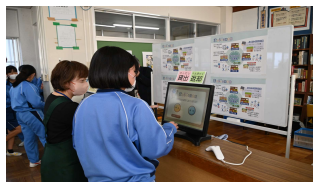
- 2030年度末の中学校部活動の完全終了に向け、地域展開の受け皿となる「F活」や「ふっくらぶ」の整備促進
- 「F活」や「ふっくらぶ」の受け皿を統括する民間主体の組織による運営
- スポーツ・文化芸術活動を通じたひとづくり・まちづくりに資する取組みの推進



教養豊かな人づくり

継 まちじゅう図書館の推進 2,600万円

○誰一人取り残さず、いつでもどこでも本と出会える、紙と電子のハイブリットな「まちじゅう図書館」の充実



新 いじめ・不登校対策の推進 583万円

- いつでもSOSを発信できるデジタルツール等により、リスクのある子どもを早期に発見・支援
- 校内教育支援センターにおける学びの機会の充実と支援員の配置



(健康福祉) 笑顔でいきいきと暮らせるまちの推進

安心できる地域医療の確保

継 総合健康センター基本計画策定 2,300万円

- 保健・介護・福祉・子育て機能について
基本構想に基づく「総合健康センター基本計画」の策定
- 医療機能について
病院機能や施設規模について基本構想の策定



誰もががしあわせに暮らせる 高齢者支援の推進

拡 加齢性難聴者補聴器 購入費助成 360万円

- 対象①市内在住の65歳以上の方
- ②聴力レベル40dB以上70dB未満の方
- ③アンケート(2回)に協力できる方
- ④助成制度を初めて利用する方
(モニター制度利用者は対象外)

○助成額：補聴器購入費の1/2
(上限3万円)



生涯いきいきと過ごせる 健康づくりの推進

拡 RSウイルスワクチン 定期接種化 1,933万円

- RSウイルスワクチンが定期接種化となる
ため、接種費用の自己負担額が無償化
- 対象者：接種日時点で袋井市に住民票が
ある妊娠28週から妊娠36週の妊婦
- 自己負担額：
0円
(接種費用は全額公費負担)



自分らしく暮らせる 障がい者・生活困窮者支援

拡 第4次障がい者計画の見直し 52万円

- 障がいの有無による差別なく
相互に人格と個性を尊重し合い
ともに支え合う共生社会を実現
- 障害福祉サービス・地域生活
支援事業の見込量等の更新及び
見直しを実施



(都市・環境) 環境にやさしく快適に暮らせるまちの推進

魅力ある拠点づくり

拡 Fukuroi Central Park 構想の推進 9億490万円

○市の中心拠点である袋井駅周辺地区の機能強化、活性化と秋田川流域の治水安全度の向上を推進

【柳原雨水ポンプ場】

放流渠整備工事（2025～2026債務負担）
ポンプ棟建設工事（2026～2029債務負担）

【遊水池公園（雨水貯留機能）】

掘削工事、排水設備工事等

【緑のにぎわいゾーン・快適居住ゾーン】

地権者の合意形成、整備手法検討など



良好な市街地の形成

新 空き家対策事業 1,500万円

- 空き家解体の補助制度の拡充
- 【現行】
補助限度額：30万円
対象：災害リスク解消区域限定
補助率：23%
- 【拡充後】
補助限度額：50万円
対象：市内全域
補助率：23%



豊かな環境の醸成と継承

拡 ゼロカーボンシティ推進事業 1,967万円

○「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、環境教育をはじめ、地球温暖化対策に資する事業への補助を実施

- ・環境教育推進事業
（アース・キッズ事業等）
- ・環境基本計画推進事業
（再エネ導入補助等）



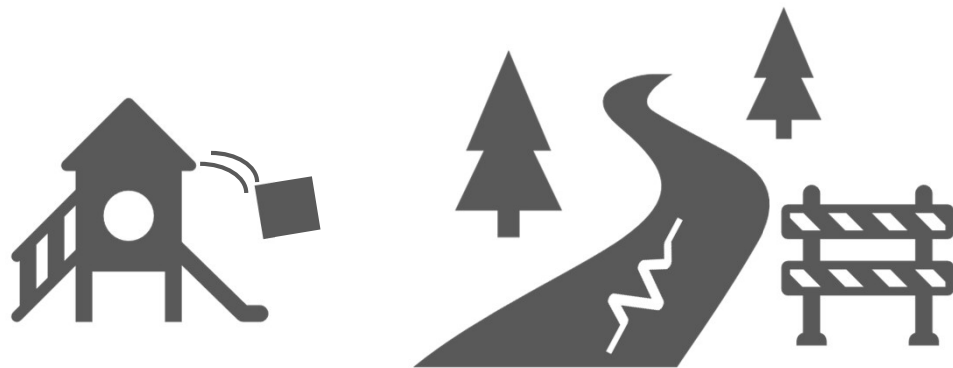
(建設保全) 生活基盤の整った持続可能な安全なまちの推進

持続的なインフラメンテナンスの推進

拡 インフラメンテナン 包括的民間委託 8,617万円

○道路や河川、公園などのインフラ管理を民間委託

- ・パトロールの一部や路面清掃等を新たに委託
- ・支払い業務の範囲を拡大
- ・広域化に向けた近隣市との情報共有



新 公園維持にロボット草刈り機を導入 200万円

○公園芝生の維持管理に自動草刈り機を導入

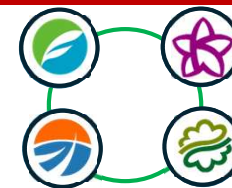
- ・公園芝生の管理水準と利用者の満足度向上
- ・管理時間の短縮により
遊具点検等の時間を確保
- ・維持管理コストの削減



上下水道の持続可能な経営

新 水道事業窓口業務等の広域化 5,869万円

- 4市による連携により、窓口業務等の事務を共同化しシステムを共同調達
- 令和9年の運用開始に向け、システムへのデータ移行、スマート窓口の設置準備



新 水道管路の維持管理に向けたAIの活用 - 万円

- AIを活用した管路の劣化診断を実施
 - ・管種・経年の診断からだけでなく、より多くの情報（地質、道路状況、漏水履歴、流量など）を元に漏水リスクを把握
 - ・効率的な管路更新の優先順位を決定し、次期アセットマネジメントの基礎データを作成

(産業経済) 稼ぐチカラの向上による活力みなぎるまちの推進

産業の新たな展開の推進

新 稼ぐチカラ向上事業

2,610万円

○コワーキングスペース「BIRDS」を活用し、産学官金の連携をはじめ、市内外の事業者や創業希望者等が集い、つながることで、一層のオープンイノベーションを推進

主な事業	事業費
ふくろい産業イノベーション推進事業	800万円
創業支援事業	180千円
新事業展開に向けた副業人材活用マッチング支援事業	300万円
BIRDSコミュニティマネージャー配置事業	700万円
中途採用支援事業	170万円
中小企業等デジタル化推進支援事業	150万円



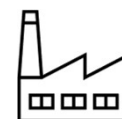
BIRDS



新 データ分析を活用した企業誘致

460万円

- 企業情報などの情報資産を持つ信用調査会社と連携し本市と関連性が高い企業を抽出
- 取引規模等をもとに市内進出の可能性を分析
- 訪問する企業のターゲットを絞り、効果的に優良企業を誘致



経営力の高い農業の振興

新 市内農産物の販路拡大

1,570万円

- 海外需要の高い抹茶の原料「碾茶」への転換支援（改植、資材費等）
- 経済成長の著しい台湾において、お茶やクラウンメロンなどの販路拡大
- ヨーロッパなどの海外需要を模索



(文化観光スポーツ) 交流が広がる魅力的なまちの推進

文化芸術の振興と戦略的な観光の推進

新 関係人口創出プロジェクト

845万円

- (仮称) 2961Dayキックオフイベント
フクロイの語呂に合わせた2029年6月1日を
(仮称) 2961Dayとし、1,000日前のキックオフ
イベントを開催

- ふるさと住民登録制度研究
国が実装化に向けて検討を進めている
本制度と連携した関係・交流人口を増やす取組

- 地域おこし協力隊の活用



新 推し活応援プロジェクト

550万円

- アニメコンテンツや推し活を活用したシティプロモーションを展開
- 知名度の向上、交流人口の増加、地域経済の振興により、
アニメコンテンツなどの聖地化を推進



スポーツを活かした交流の促進

新 海のにぎわい創出プロジェクト

410万円

- うみてらすDORI賑わい創出補助

民間団体が本エリアで実施する事業促進のため
事業費の一部を補助

- スポGOMI大会の開催

- 海プロフェスタ

うみてらすDORIの利活用の可能性を探ることを
主目的としたイベント開催



新 つながる！地域文化デジタル化事業

388万円

- 文化財にかかる情報をデジタル化し、わかりやすく価値や魅力を発信

- ・ 文化財に対する意識の向上により保護の担い手を確保
- ・ 地域住民主体の文化財保護の体制を構築



(市民生活) つながりによる安心と多様性のあるまちの推進

市民生活と行政の協働によるまちづくり

新 市長と語る地域座談会の開催

- 万円

- 市長が新しいまちづくりの方向性を市民へ直接伝達
- 今後の地域づくりへ市民意見の聴取
- 市内14地区で開催予定



共生社会の確立

継 外国人市民と備える防災訓練

～外国人も「助ける人」へ～ - 万円

- 地域や企業との連携により防災訓練への外国人市民の参画を促進
- 「助けられる人」から「助ける人」へをテーマに実践的な訓練を実施



市民による生活環境の向上

継 可燃ごみ削減プロジェクト ～ふくろい5330運動～ 3,705万円

- 目標：家庭系可燃ごみを2030年までに30%削減
- 可燃ごみから資源ごみへと適正な排出を促進
- 草木リサイクル、
雑がみ回収や資源プラスチックの分別



継 交通安全対策推進事業

- 万円

- パートナー協定を締結している
スポーツクラブとの交通安全啓発
- カーブミラーなどの交通安全施設の総点検



継 防犯灯設置、防犯対策推進事業

665万円

- 袋井警察署や防犯団体等との連携
- 地域や市民に対する
防犯情報の提供や啓発を推進



(危機管理) 災害に強い支え合いのまちの推進

防災減災対策の推進と危機管理体制の強化



新 災害時における被災者の支援システム導入 2,026万円

○災害時に住民生活の安定と速やかな復興など、被災後の生活再建支援を迅速に行うため、罹災証明書の発行や支援金の給付を支援するシステムを導入

- ・発災時における迅速な被害状況把握と被災者の生活再建支援
- ・罹災証明書の申請手続のオンライン化の検討



新 市民防災意識の向上 - 万円

○ホームセンターでの防災備蓄促進キャンペーン
家庭内減災対策の取組の1つとして、家庭における1週間分の防災備蓄品を周知啓発

○防災講演会等でのメローねっとの登録促進
平時からの災害に対する備えとして、防災講演会等においてメローねっとの登録を推進

○デジタルクーポン事業との連携
クーポン事業開始にあわせた市民への周知啓発



消防・救急救命体制の充実

継 消防団組織体制の充実につなげる取組 - 万円

○消防団員の不足に対し、処遇改善、出動報酬の創設、プロモーション、活動改善による負担軽減の取組を実施

○「消防団組織最適化計画」で定めた事項について関係者・有識者の見解を踏まえ制度設計や条例の改正を実施



(行政経営方針) 多様な主体と共に創る持続可能な行政経営

①経営資源の強化・最適化 ②変化に挑む行政経営

拡

公共施設等総合管理計画の改訂

1,100万円



○公共施設の老朽化の進行を踏まえ、将来にわたり施設管理と健全な財政運営を両立させていくための公共施設マネジメントの取組

- ・公共施設の縮減目標設定
- ・公共施設等の現況と更新費用等の再算定
- ・施設分類ごとの長寿命化や統廃合などの方針決定



拡

ふるさと納税制度を活用した地域の魅力発信

1,600万円

○市内での体験など新たな返礼品の創出やコラボ企画による付加価値の向上による新たなファン獲得を目指す

- ・ふるさと納税の獲得と地域経済の振興
- ・事業者間連携による商品化等、返礼品の充実強化
- ・広告宣伝の充実強化



拡

フロントヤード改革の推進

1,127万円

○従来の対面・書面中心の手続きにデジタル技術を組み合わせ、市民サービスを向上し業務を効率化

- ・市役所窓口の最適化検討
- ・コンビニでのマイナンバー入り
住民票の交付開始
- ・本庁舎等へのキャッシュレスレジの導入



拡

「おくやみワンストップ窓口」 @浅羽支所

- 万円

○おくやみワンストップ窓口の開設
手続きごとに本庁や教育会館、総合健康センターなどの担当課を回ることが不要

○支所窓口のワンストップサービスにより市民の負担軽減と市民サービスが向上

○対象手続：
本庁、総合健康センター、教育会館などで行う、約80種類の申請手続き





組織改編のポイント

- ◇新たな総合計画の政策体系に基づいた施策推進と課題への対応
- ◇変化が激しく予測困難な社会に柔軟に対応できる行政組織の構築

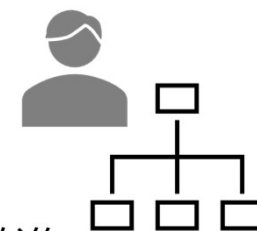


1 部の新設

「スポーツ文化観光部」 を新設（スポーツ・文化・観光の関連部署を一元化）
スポーツ施設や文化・観光資源を一層活用し、多様な交流の促進とにぎわいの創出を推進

2 部局横断的な体制整備

「統括官」 を配置（「行政経営」と「官民共創」の推進チームを統括）
業務のトータルマネジメントや迅速な意思決定により、柔軟かつ機動的に業務を推進



3 課の新設ほか

「ブランド戦略課」 を新設（まちのブランド価値の向上）
時代のトレンドに加えて、市民や事業者のニーズを分析し、まちの新たな価値を創出する

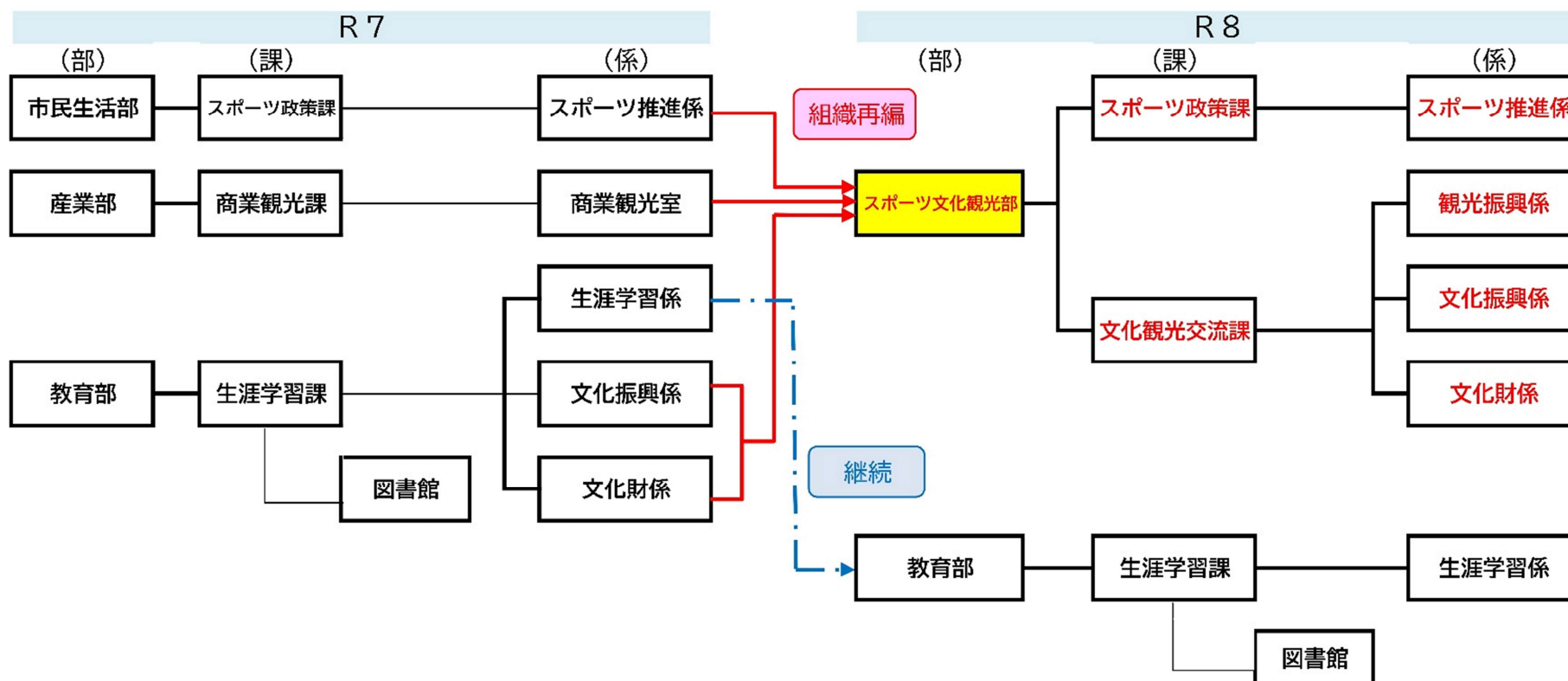




1 部の新設

◇新たな総合計画の政策体系に基づいた施策の推進と課題への対応

目的	改編内容	改編の理由
交流促進・ にぎわい創出	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 部の新設 スポーツ文化観光部 </div>	スポーツ・文化・観光の関連部署を一元化。 スポーツ施設や文化・観光資源を活用し、多様な交流の 促進とにぎわいの創出を推進する。 部内に「スポーツ政策課」と「文化観光交流課」を配置。





2 部局横断的な体制整備

◇変化が激しく予測困難な社会に柔軟に対応できる行政組織の構築

目的	内容	理由
部局横断的な業務推進	<p>部局横断チームと統括官の新設</p>	<p>部局横断的な取組を強化し、柔軟かつ機動的に業務を推進できる体制の整備として、関係部署が一体となったチーム編成と統括官を配置。</p> <p>行政経営及び官民共創を推進する「統括官」をそれぞれ配置し、業務のトータルマネジメントや迅速な意思決定に基づいた業務推進を図る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>行政経営推進チーム</p> <p>(事務局:総務課経営改革係)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>官民共創推進チーム</p> <p>(事務局:ブランド戦略課ブランド戦略係)</p> </div> </div>



3 課の新設ほか

目的	改編内容	改編の理由
ブランド戦略の推進	<div>課の新設</div> ブランド戦略課	社会潮流や市民・事業者のニーズなどを分析し、まちの新たな価値を創出する。
ゼロカーボンシティの実現	<div>課の再編</div> 環境・リサイクル推進課	地球温暖化対策実行計画に基づく施策を一体的に推進するため、環境政策課と廃棄物対策課を再編。資源循環型社会の推進に係る施策の連携・効率化を図る。
こども・若者施策の強化	<div>係の新設</div> こども政策課「給付係」	将来を担う若者・子育て世帯に選ばれる魅力あるまちづくりを推進するため、企画係が企画立案業務に注力できるよう、児童手当等の給付を担当する「給付係」を新設。
稼ぐチカラの強化 関係人口増加	<div>係の再編</div> <ul style="list-style-type: none"> 総合政策課「広報広聴係」 ブランド戦略課「ブランド戦略係」 	シティプロモーションや官民共創、ふるさと納税業務を強化するため係を再編。シティプロモーション及び広報・広聴業務は総合政策課「広報広聴係」が担当し、官民共創及びふるさと納税業務はブランド戦略課「ブランド戦略係」が担当する。 <div> </div>



4 その他

◇名称を変更する部署

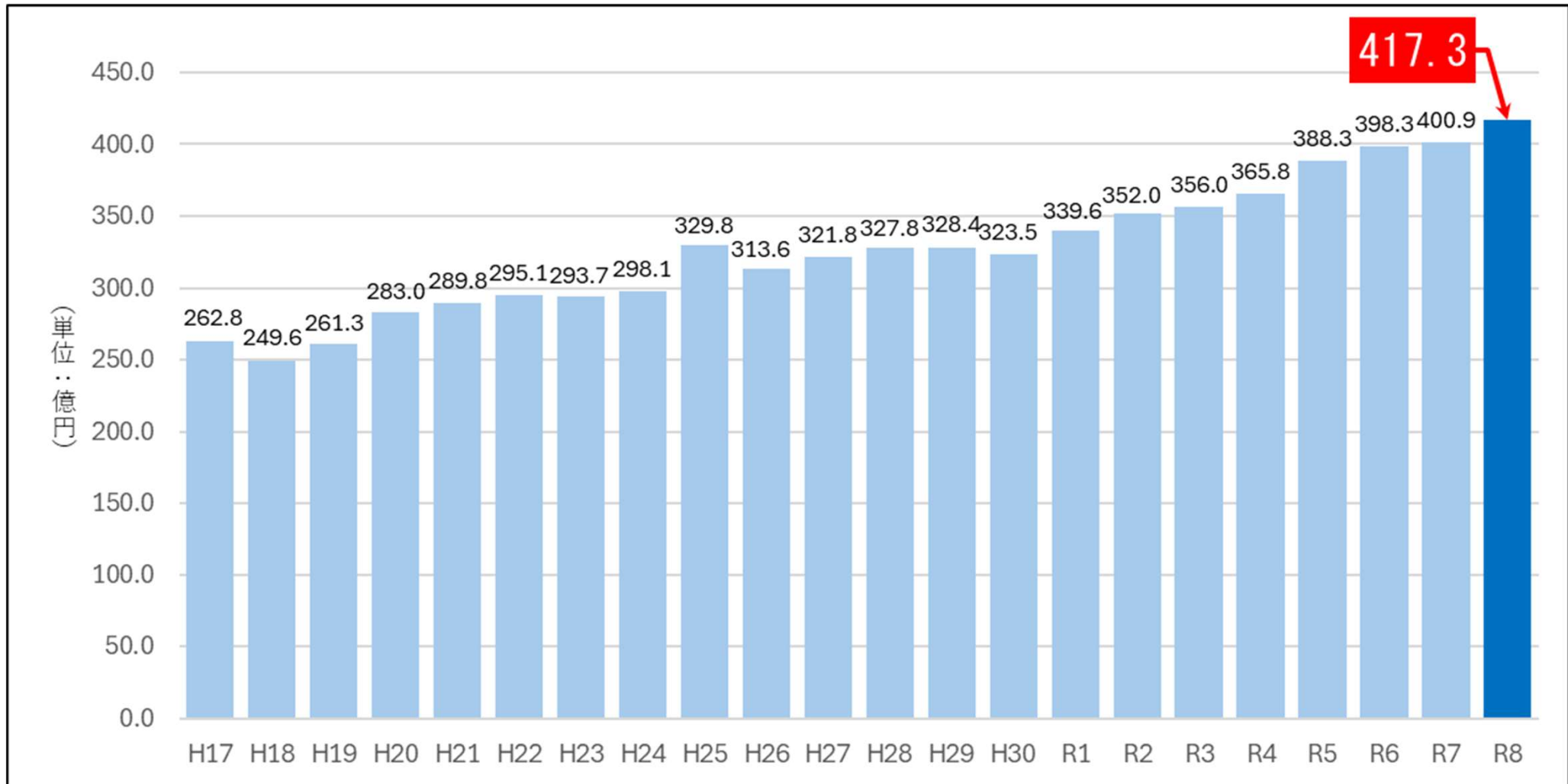
内容	理由
産業部を 産業経済部 へ改称	地域経済の発展を目指し、産業・農業・商業の一体的な推進に加え、産業イノベーション等による「地域経済のさらなる発展」を力強く意識した取組を推進するため。
企画政策課を 総合政策課 へ改称	各施策の統括と進捗管理の役割を明確にするため。
(市民課)ワンストップ窓口推進室を マイナンバー利用推進係 へ改称	マイナンバーカードの利用をより一層推進し、行政サービスの向上や市民の利便性を高めるため。
(農政課)農地利用係を 農地活用推進係 へ改称	遊休農地・荒廃農地の発生防止・解消に向けて積極的に取り組むため。
各所属の呼称を「～係」に統一	係と室の混在を解消し、所属の名称をわかりやすくするため。 (契約検査室を除く。) 【対象】 コミュニティ推進室、防災減災推進室、DX推進室、収納対策室、健康企画室、まちづくり政策室、住宅土地対策室、治水対策室、未来の教育推進室、魅力ある部活動推進室の係名を「室」から「係」へ

補足資料





当初予算(一般会計)の推移





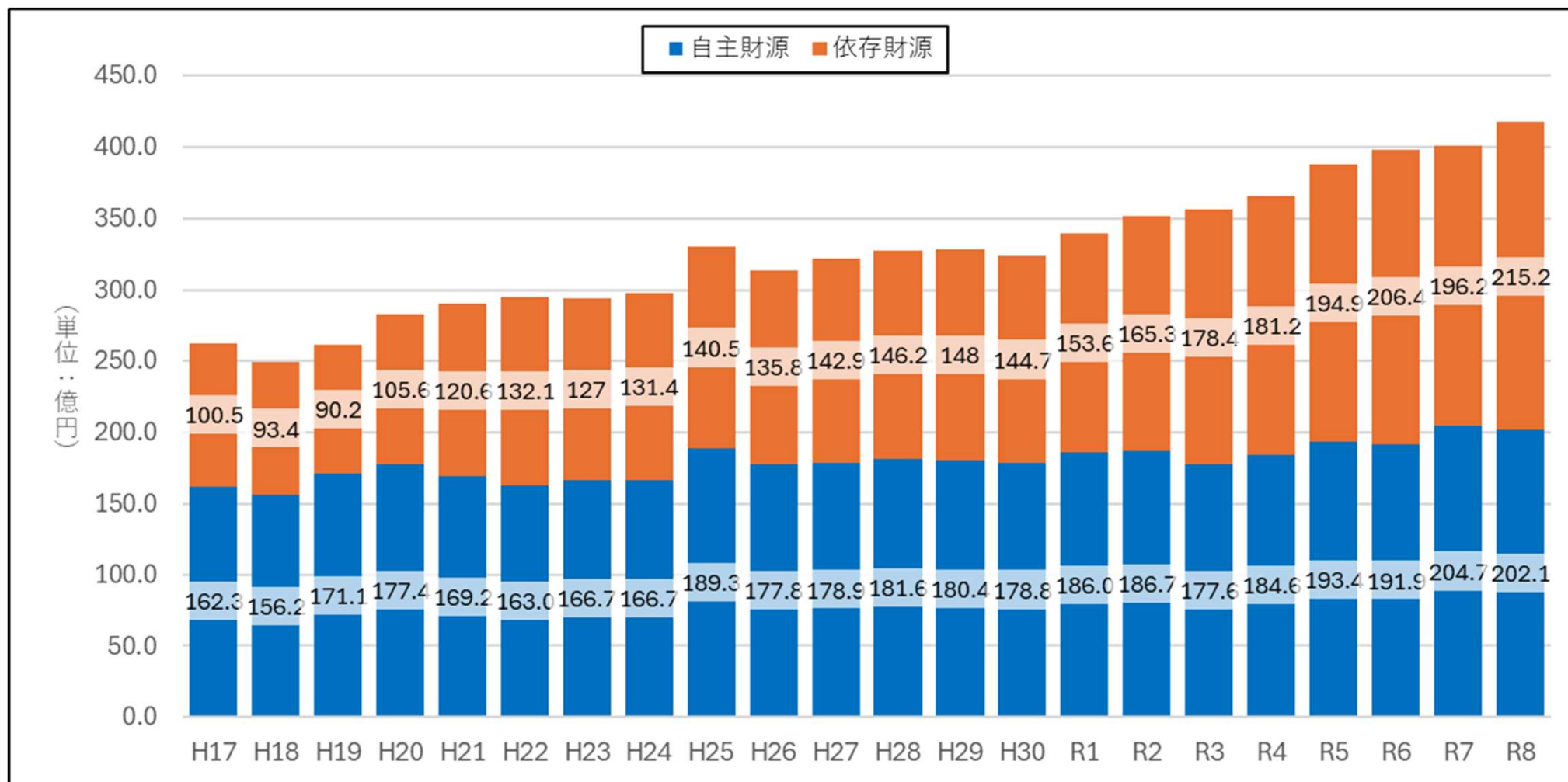
歳入・歳出の特徴（一般会計）

区分	R8当初	R7当初	増減	主な増減要因
歳入	417.3億円	400.9億円	+16.4%	
自主財源	202.1億円	204.7億円	△2.6%	個人市民税 +1.7億円 法人市民税 △3.7億円
依存財源	215.2億円	196.2億円	+19.0%	物価高騰対応重点支援交付金 +7.5億円 公定価格増による国庫支出金 +3.2億円
歳出	417.3億円	400.9億円	+16.4%	
消費的経費	349.7億円	333.0億円	+16.7%	各種扶助費の増 +10.4億円 人事院勧告による人件費の増 +2.2億円
投資的経費	40.8億円	40.6億円	+0.2%	駅南まちづくり事業 +2.2億円 静岡モデル防潮堤整備事業 △1.3億円
その他	26.8億円	27.3億円	△0.5%	水道事業出資金 +0.8億円 下水道事業出資金 △1.5億円

※係数整理の結果、数値の異動が生じる場合があります。



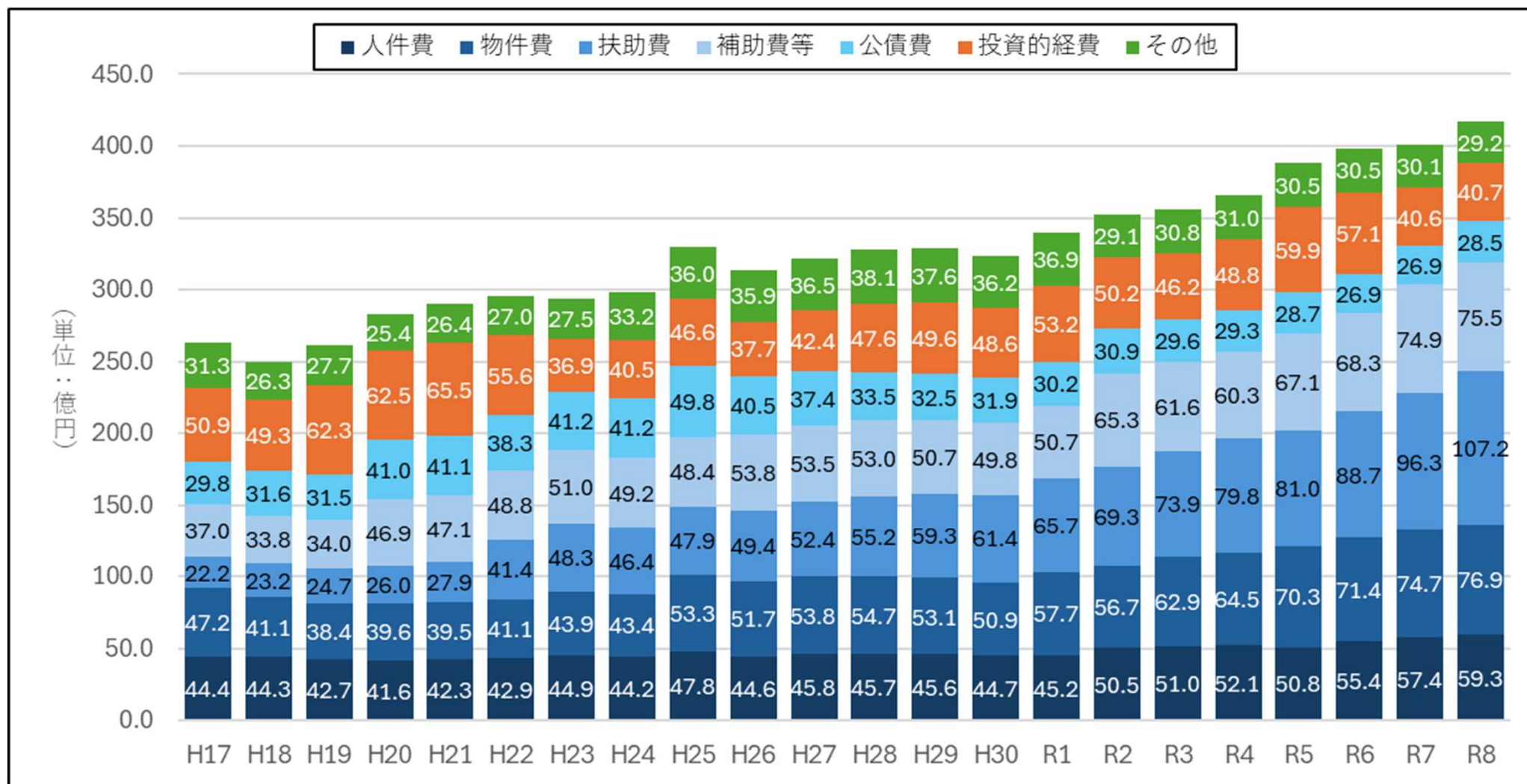
当初予算歳入財源別の推移（一般会計）



※係数整理の結果、数値の異動が生じる場合があります。



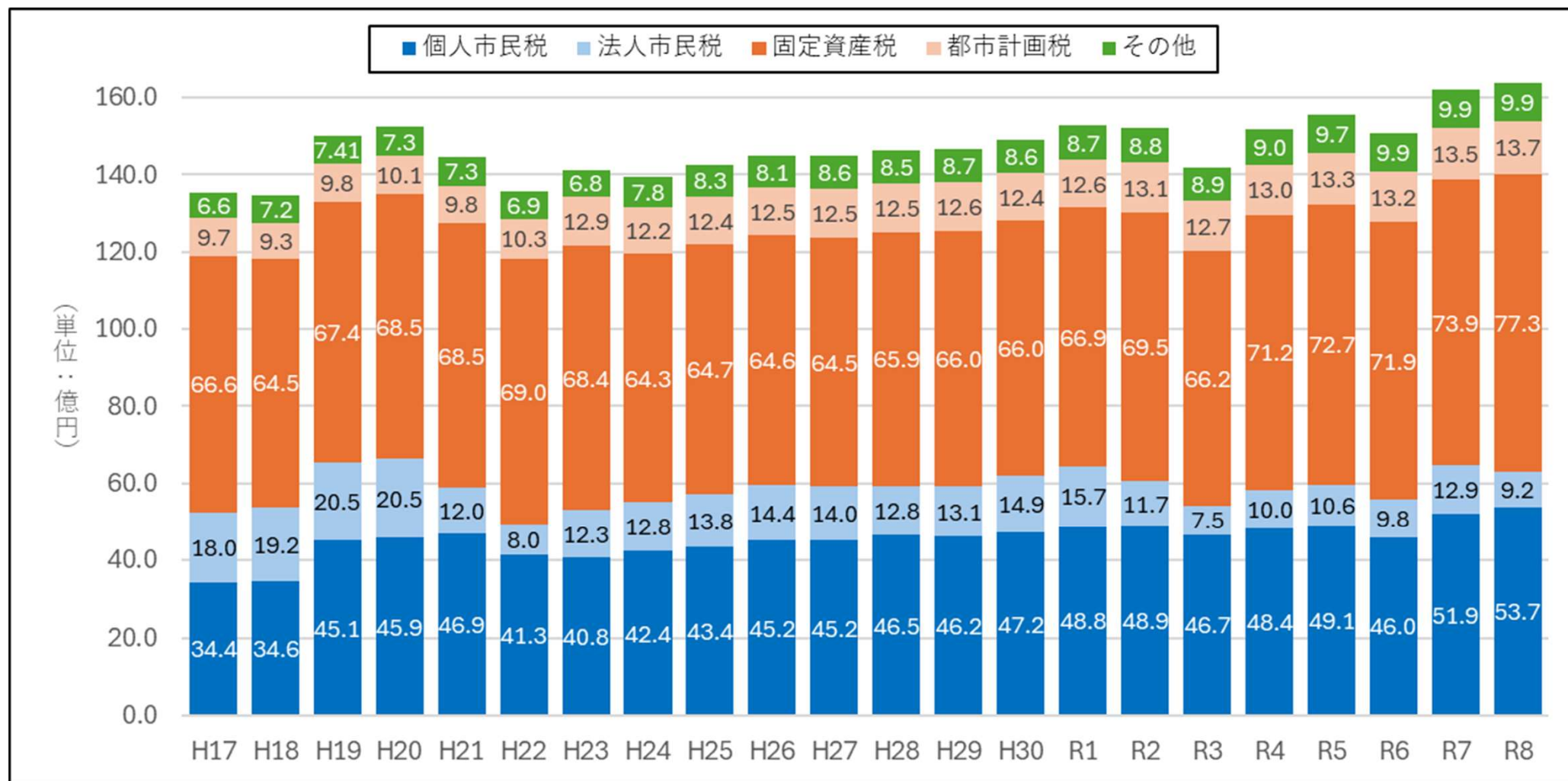
当初予算歳出性質別の推移（一般会計）



※係数整理の結果、数値の異動が生じる場合があります。



当初予算市税の推移（一般会計）



※係数整理の結果、数値の異動が生じる場合があります。



新設、名称変更
室⇒係へ変更

令和8年度 袋井市行政組織図(令和8年4月1日～)

12部 40課 1室 85係

